

初めてのRemoteNet遠隔操作

リモートに、画面コントロール、声の会話でクライアントPCを制御する。

対応機器セットアップ

クライアントモードPC: Windows XP IP: 192.168.0.10

画面解像度: 800x600、16ビットの色

画面のサイズ: 26

画面の色: 4

マネージャーモードPC: Windows XP IP: 192.168.0.2

画面解像度: 1024x768、32ビットの色

画面のサイズ: 26

画面の色: 4

ポートを設定: (デフォルト設定)

ネットワークでPCを検査してください。

プライベート・IPアドレス。

プライベート・アドレススペースに予約される3つのアドレスの範囲は以下の通りです。

10.0.0.0 – 10.255.255.255

172.16.0.0 – 172.31.255.255

192.168.0.0 – 192.168.255.255

「F.A.Q.-インターネットを通してネットワークPCを制御します」参照してください、

- スタティック/ダイナミック IPアドレスでPCを制御
- NATのルーター/ファイアウォールでPCを制御

ステップ1-手順

クライアントモードPC

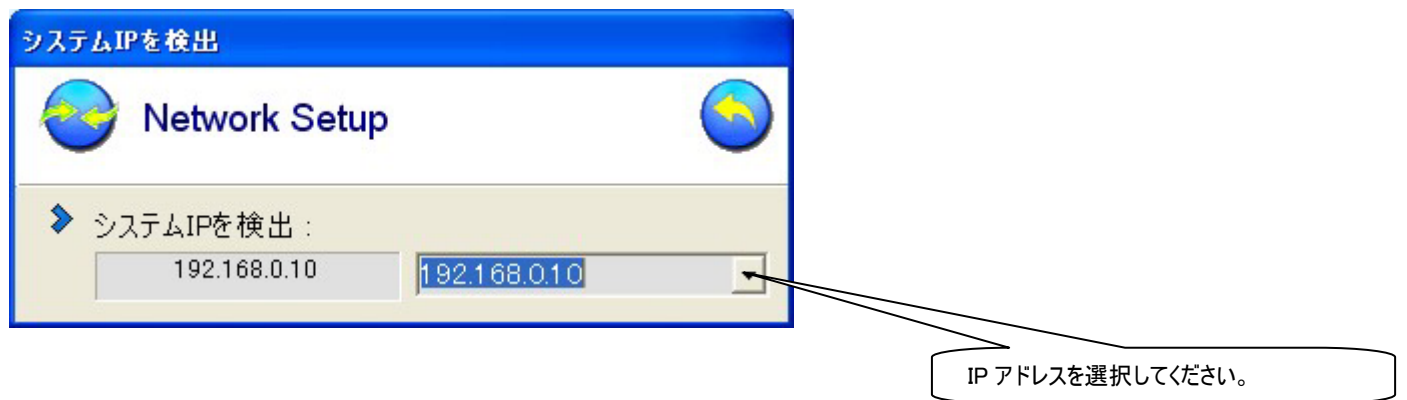
1. システムにIPを検出します。

- 「システムIPを検出」のボタンを押して、システムIPのリストを得て、IPアドレスを選択してください、(例えば、192.168 .0 .10)。

図 2.5.1 システムIPを検出



図 2.5.2 「システムIPを検出」ツールメインウィンドウ



- 2. IP接続の確認

MS-DOSプロンプトを使用する場合は、pingコマンドでIPアドレスを特定することでTCP/IP接続が開設されたかを確認できます。

例“ping 192.168.0.10”コマンドによって別のPCが応答可能。

- 3. PC名前、ユーザ名前、パスワードを設定します。(デフォルト)

PC名前「PC# 1」

ユーザ名前“123456789”

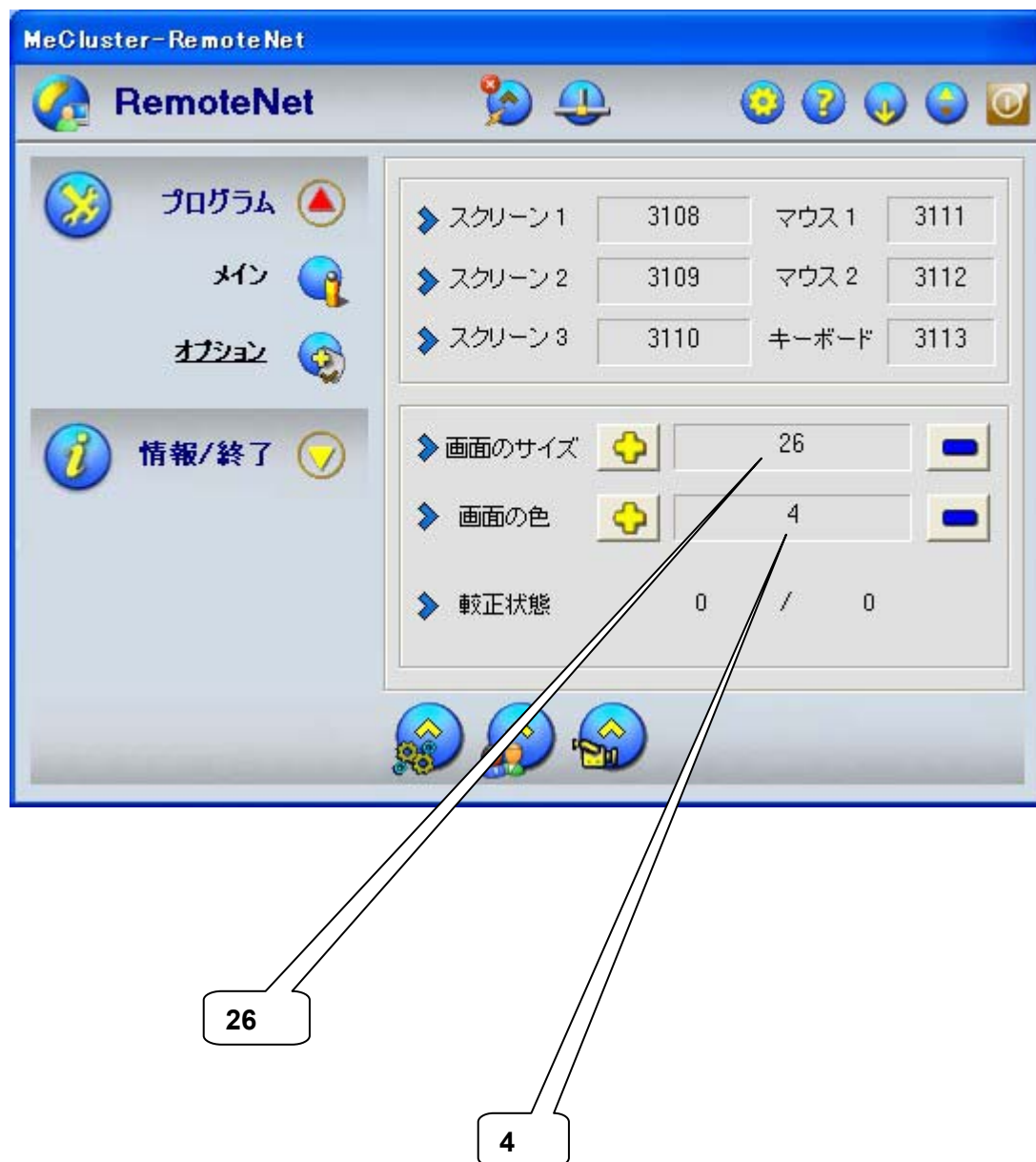
ユーザパスワード“*****” (“123456789”)

図 2.5.3 ユーザ名前とパスワード



4. 画面のサイズ(スクャンブロック): 26、画面の色カラーパレット: 4

図 2.5.4 クライアントモードPC、オプション - スクリーンセクション



5. システム画面解像度をチェックしてください: 800x600、16 ビットの色

図 2.5.5 クライアントモードPC、システム画面解像度チェック



6.クライアントモードPCを開始。

図 2.5.6 クライアントモードPCでRemoteNetを開始



ローカルクライアントを開始すると、RemoteNetはシステムトレイに滞在するでしょう。サブプログラム(ファイルクライアント、マウスクライアント、声クライアント)は、システムトレイに滞在する。

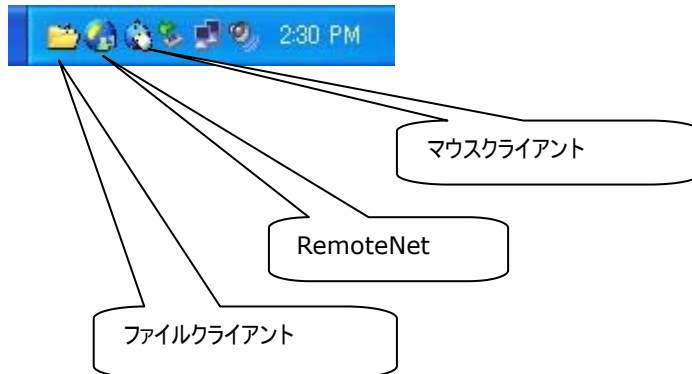
図 2.5.7 サブプログラム「ファイルクライアント」



図 2.5.8 サブプログラム「マウスクライアント」



図 2.5.9 システムトレイにRemoteNetとサブプログラム



5. Windows XP(セキュリティが警告するウィンドウズ)はファイアウォールを設立:

「Windowsセキュリティ警戒」メッセージボックスを見つけるなら、“Unblock”が、RemoteNetを妨げるのを避けるのを選択しなければなりません。

図 2.5.10 “Unblock”を選択します

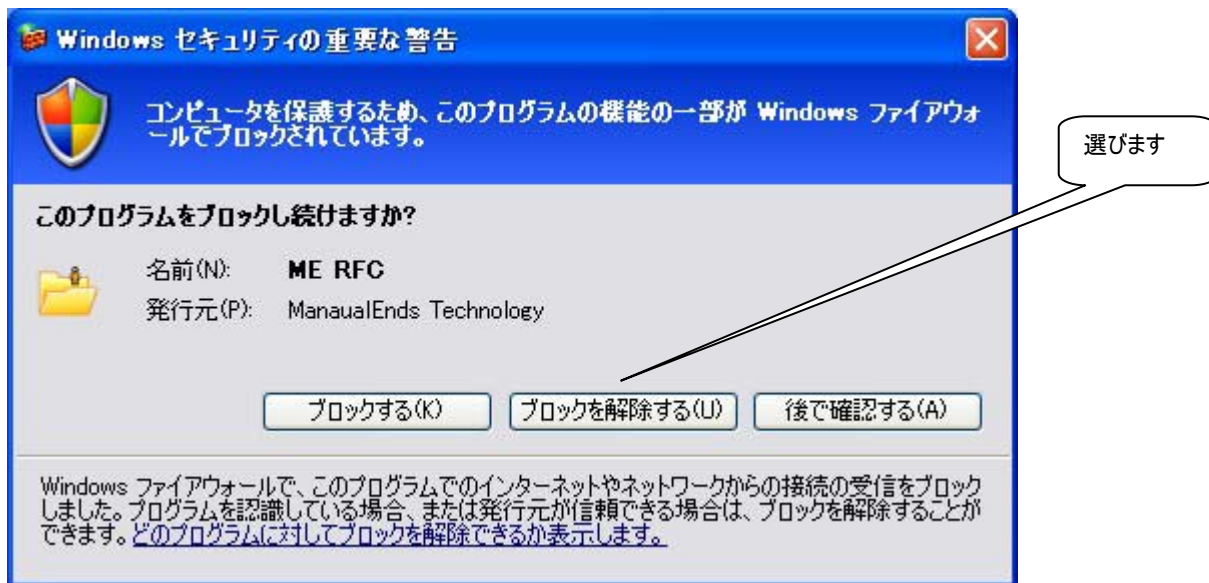


図 2.5.11 “Unblock”を選択します

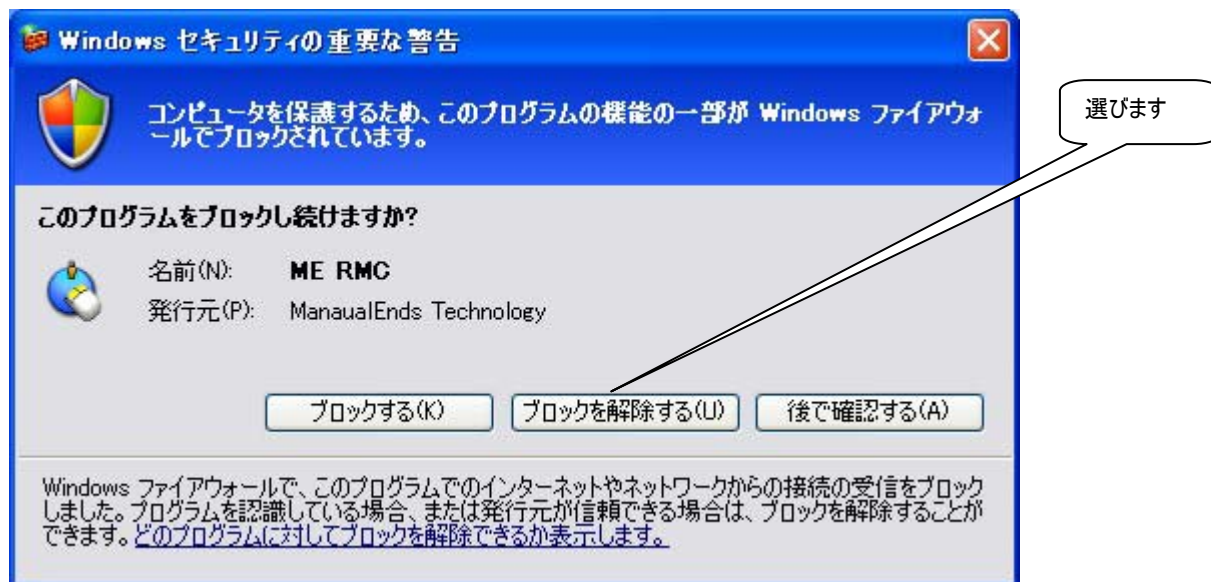


図 2.5.12 “Unblock”を選択します

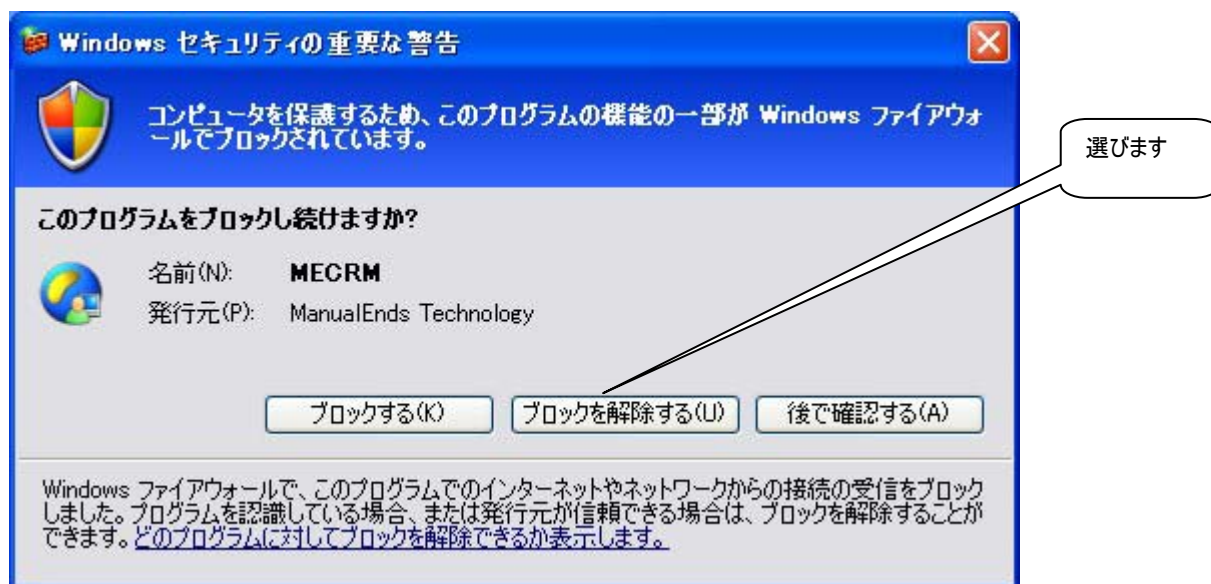
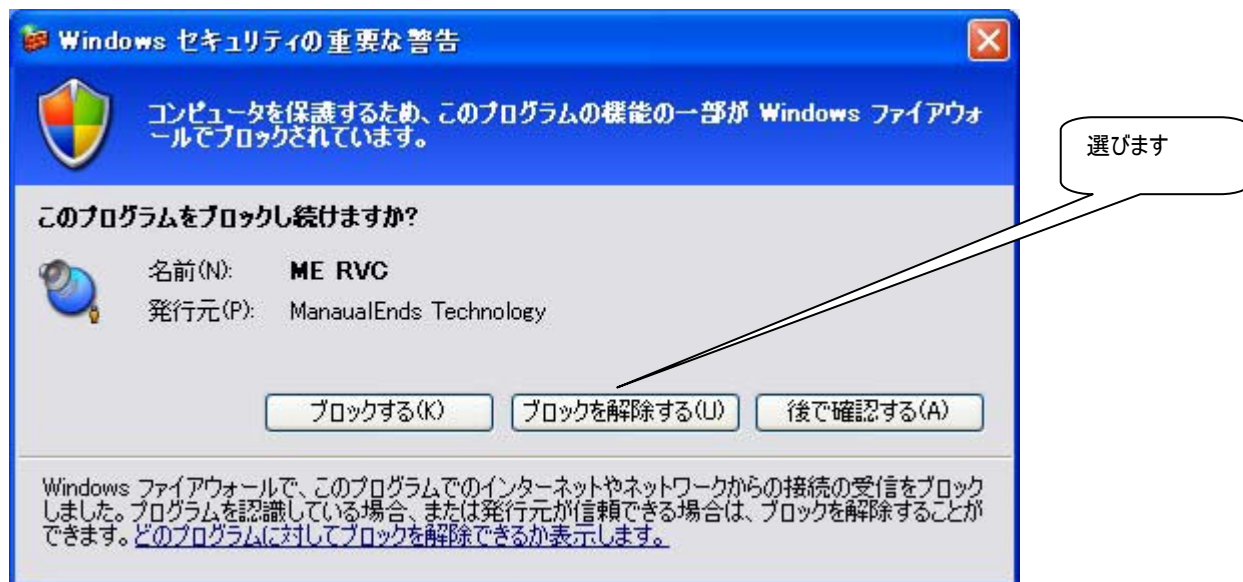


図 2.5.13 “Unblock”を選択します



マネージャーモードPC

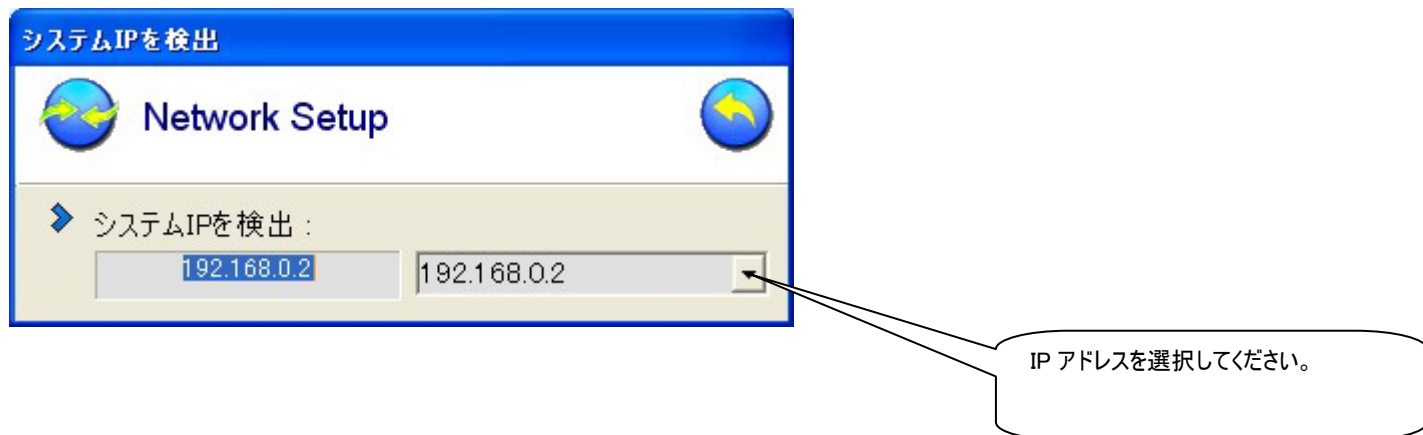
1. システムにIPを検出します。

- 「システムIPを検出」のボタンを押して、システムIPのリストを得て、IPアドレスを選択してください、(例えば、192.168.0.2)。

図 2.5.14 システムIPを検出



図 2.5.15 「システムIPを検出」ツールメインウィンドウ



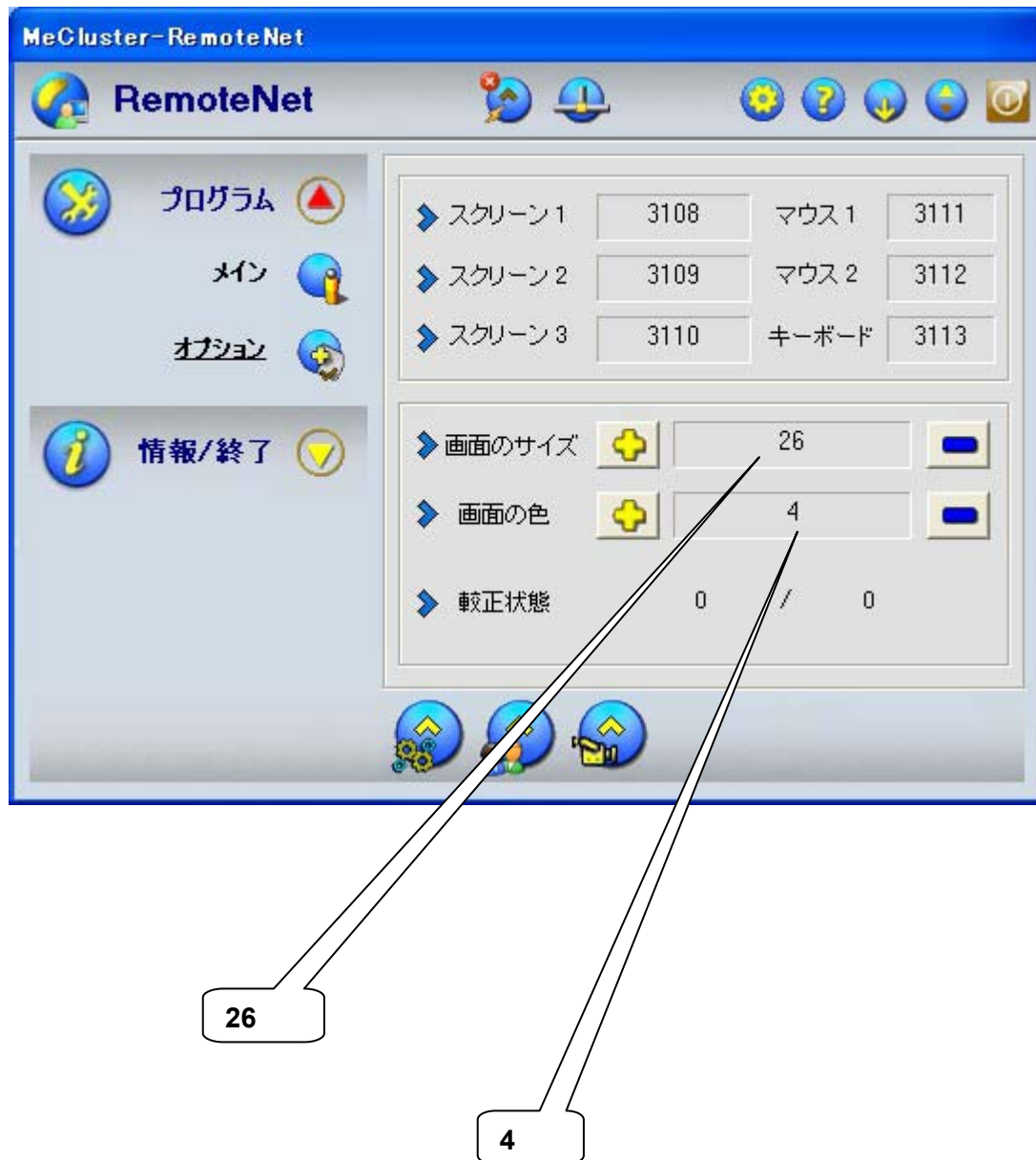
- 2. IP接続の確認

MS-DOSプロンプトを使用する場合は、pingコマンドでIPアドレスを特定することでTCP/IP接続が開設されたかを確認できます。

例”ping 192.168.0.2”コマンドによって別のPCが応答可能。

- 3. 画面のサイズ(スクランブロック): 26、画面の色カラーパレット: 4

図 2.5.16 マネージャーモードPC、オプション画面セクション



4. 目標 PCのIPアドレスを入力します。(、この場合と、192.168.0.10)

図 2.5.17 マネージャーモードPC



5. または、「スキャンIP」のためのIPアドレスの範囲を設定してください、(この場合、スキャン開始: 192.168 .0 .10、スキャン終了: 192.168 .0 .10)。

図 2.5.18 マネージャーモードPC

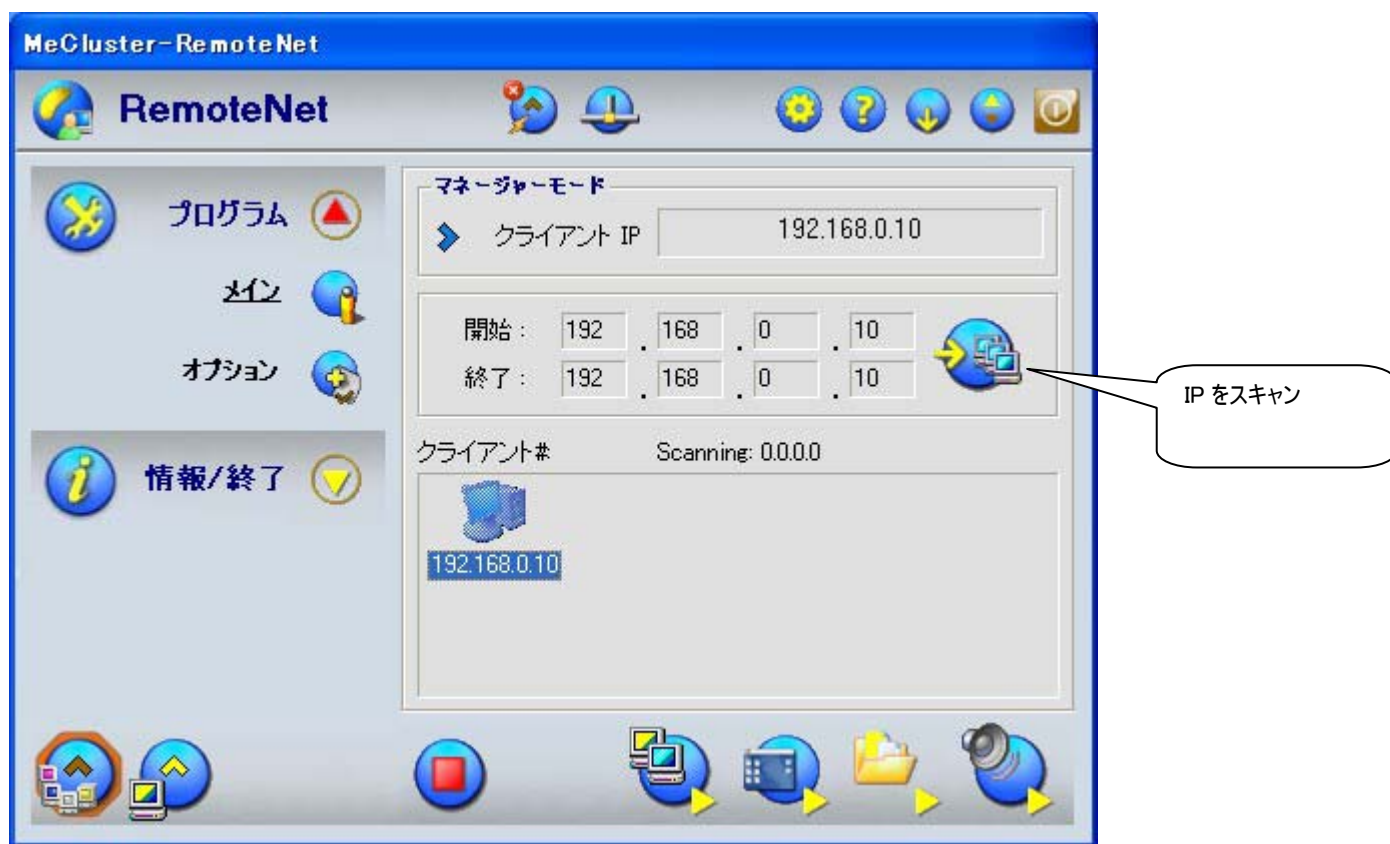
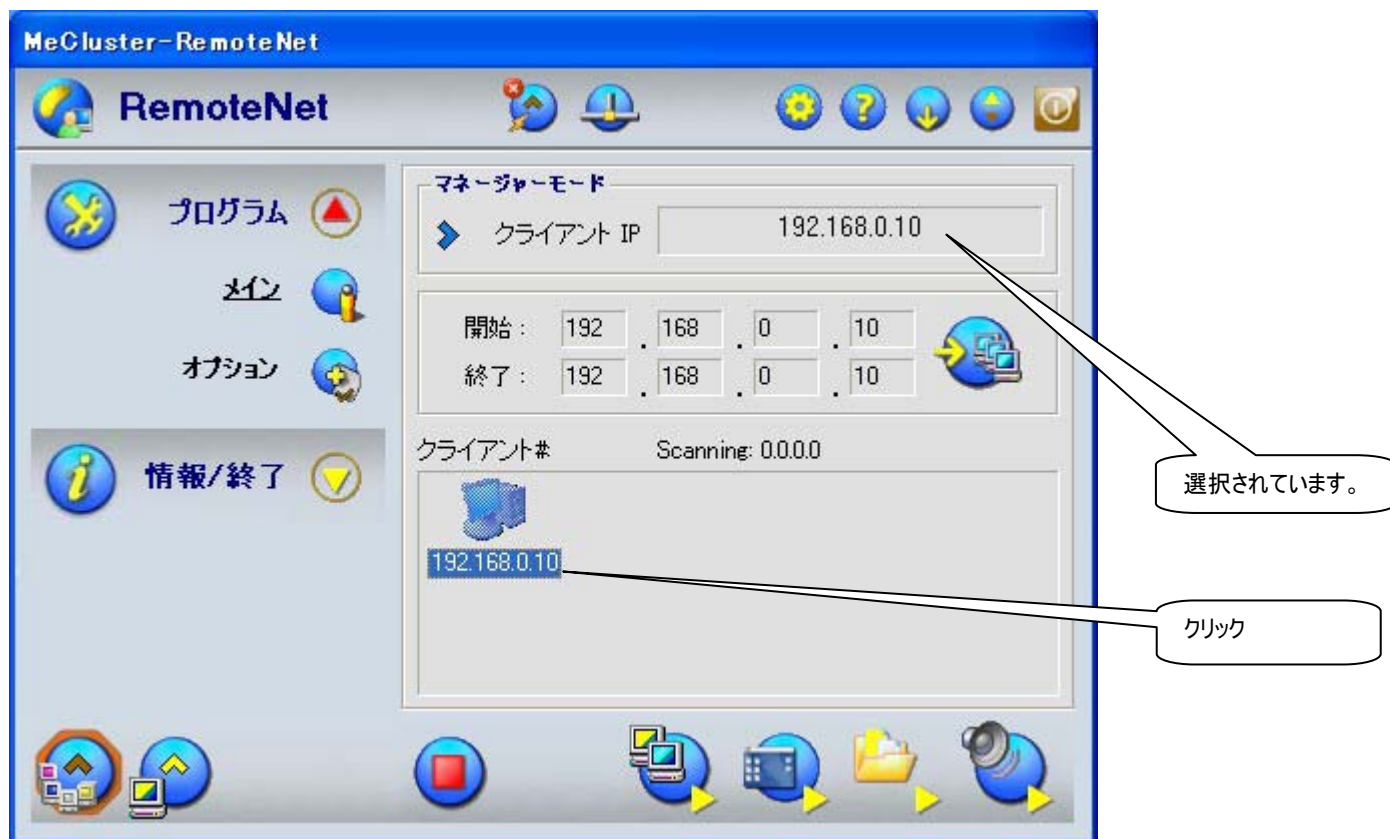


図 2.5.19 クリックして、選択します



注意:

PCアイコンをクリックして、選択してください。

情報:

「PC # 1 - Microsoft Windows XP - 800x600x16」

「選択されたPCの名前 - OSバージョン - スクリーン画面のサイズ(600x800画素、16ビット画面の色)」

- セットアップ後IPに接続すると、クライアントPCに対するファイルの転送、リアルタイムウインドウリモート、デスクトップコントロール、が開始できます。

図 2.5.20 マネージャーウィンドウ



ステップ2 - テスト

マネージャーモードPC - 声の会話を始めて

図 2.5.21 声の会話を始めて

。



声の会話を始めて

図 2.5.22 声の会話 - 声のオン

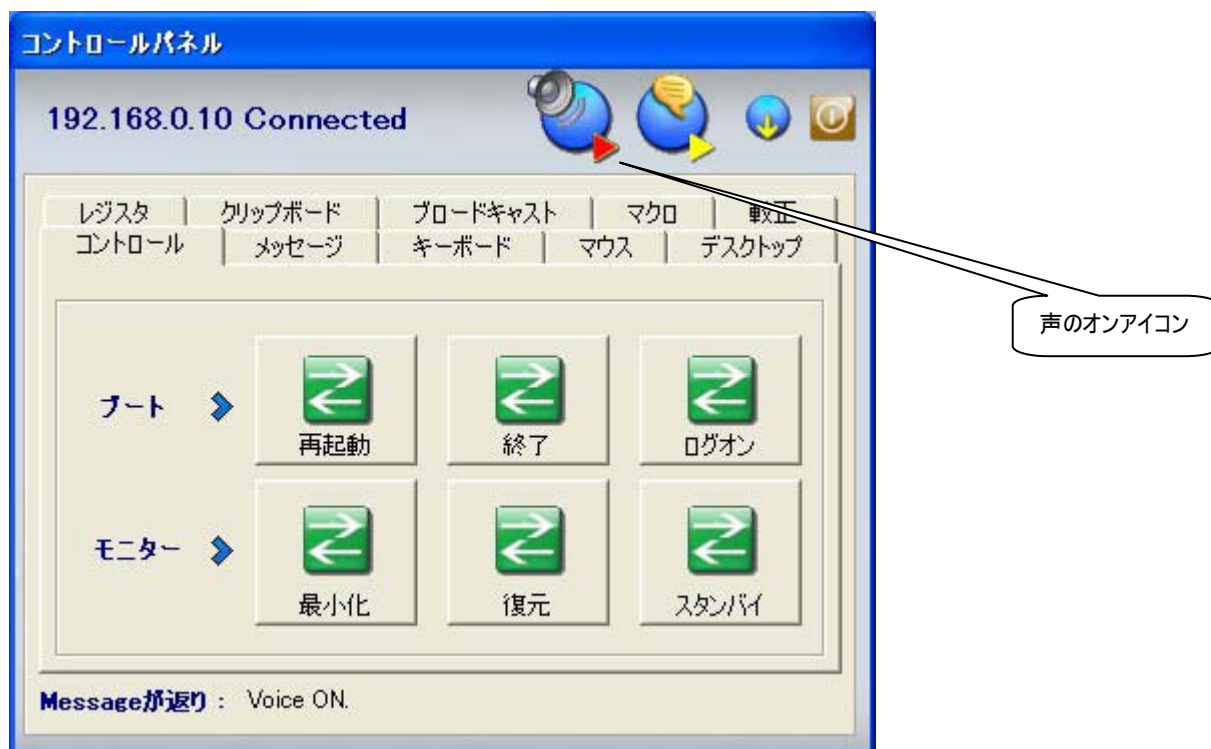
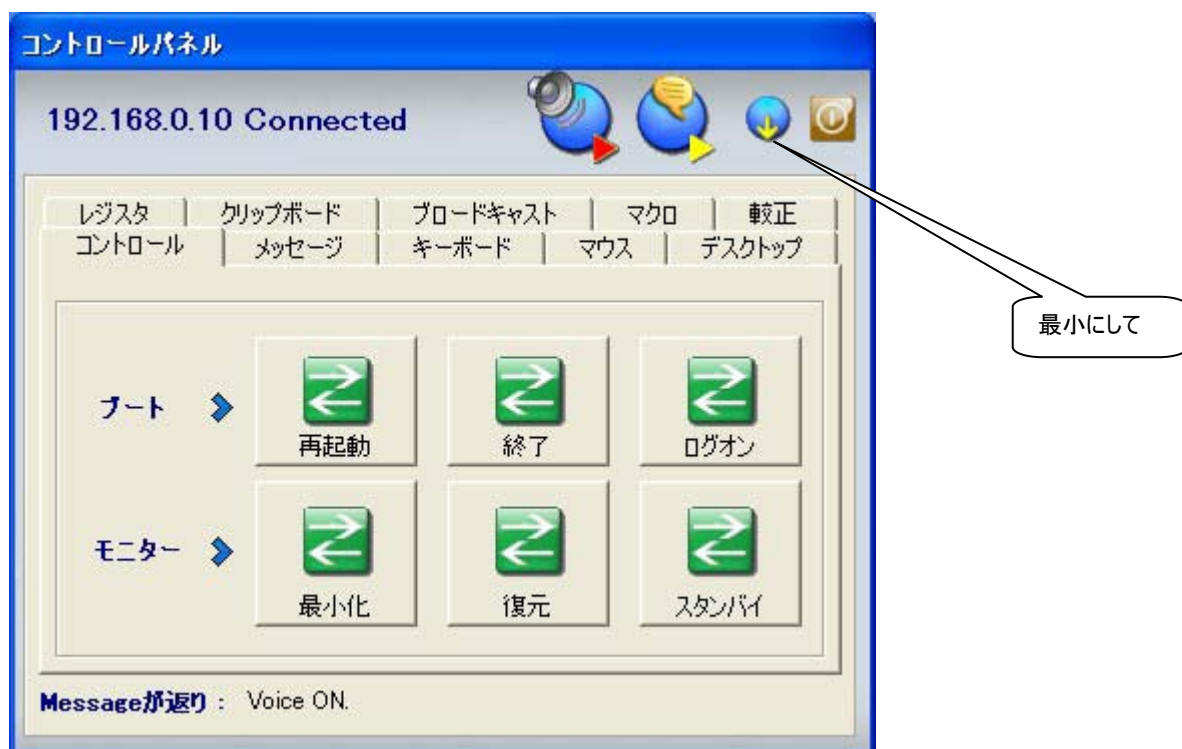


図 2.5.23 声の会話 - コントロールパネルを最小にして



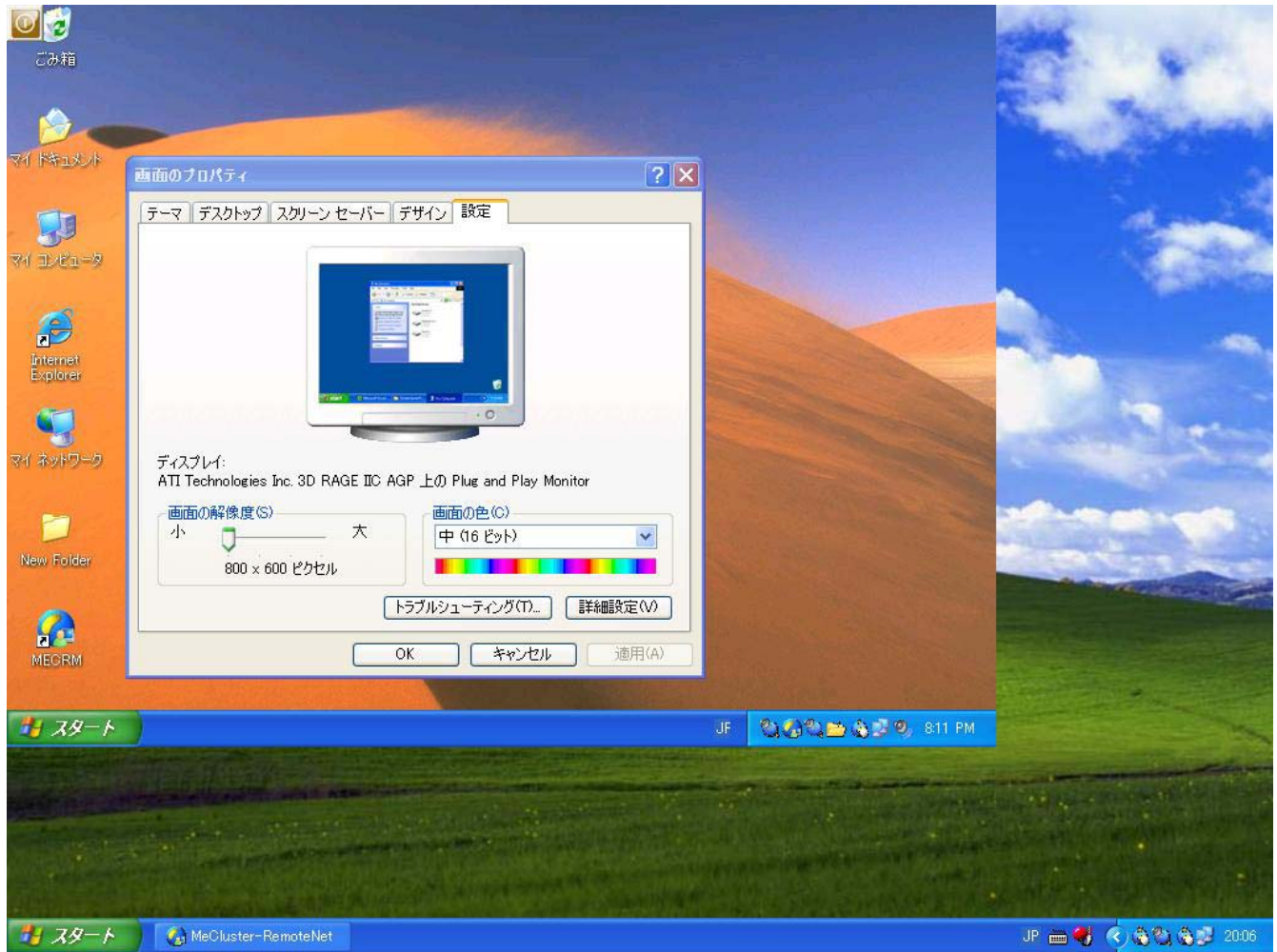
マネージャーモードPC - クライアントウィンドウ画面コントロールを開始

図 2.5.24 リモート画面コントロール



図 2.5.25 マネージャーPCの画面コントロールにおけるリアルタイムクライアントウィンドウを開始

停止ボタ



チップ: マウスとキーボードでウィンドウズを動く、またはリサイズ

リモート移動 ウィンドウ:

- ウィンドウズを選択してください、ALT キーを押してください。
- ALT キーを押さえている間、Spacebar を Tab してください。これは選択されたウィンドウズのためのコントロールメニューを開くでしょう。
- キーボードで「M」を押して、ウィンドウズを動かしたいと Windows に言ってください。(注意: Move が利用可能でないなら、それは、ウィンドウズがフルスクリーンであることを意味して、動かすことができません。「R」を押す、動くためにリサイズにウィンドウズを修復してください。)
- キーボードの上にアローキー(Right か Left)をクリックしてください、そして、新しい位置にマウスを動かしてください。
- マウスボタンをクリックして、ウィンドウズ移動を中止ください。

リモートウィンドウズのリサイズ:

- ウィンドウズを選択してください、ALT キーを押してください。
- ALT キーを押さえている間、Spacebar を Tab してください。これはコントロールメニューを開くでしょう。
- ウィンドウズがサイズまで欲しいと Windows に言うようにキーボードの「S」に強要してください。(注意: Size が利用可能でないなら、それは、ウィンドウズがフルスクリーンであることを意味して、移動することができません。「R」を押す、サイズ処理のためにリサイズにウィンドウズを修復してください。)
- キーボードでアローキー(Right か Left)を押して、ウィンドウズサイズを選択してください。
- マウスを使用して、サイズを移動してください。
- マウスボタンをクリックして、ウィンドウズを大きさに分けるのを止めてください。